

## 国立大学法人小樽商科大学長の業績確認結果について

平成31年1月21日

学 長 選 考 会 議

国立大学法人小樽商科大学学長選考規程第17条の2に規定する学長の業績確認を実施しましたので、その結果を公表します。

### 記

#### 1. 対象期間

平成29年度

#### 2. 確認方法等

国立大学法人小樽商科大学学長の業績確認に関する細則に基づき、以下のとおり学長の業績を確認しました。

- |        |   |
|--------|---|
| ＜対 象＞  | ①監事による業務監査・会計監査の結果<br>②学長候補者として表明した所信の達成状況<br>③国立大学法人評価委員会が公表する年度評価 |
| ＜確認資料＞ | ①監事監査結果報告書<br>②学長候補者として表明した所信<br>③国立大学法人評価委員会からの業務の実績に関する評価結果       |
| ＜確認方法＞ | ①業績確認資料による書面審査<br>②監事へのヒアリング<br>③学長へのヒアリング<br>④学長選考会議による審議          |

#### 3. 確認結果

小樽商科大学は和田健夫学長のリーダーシップのもと、戦略性が高い目標・計画として、「グローバル人材育成のための新規教育課程の構築」、「産官学連携・大学連携に向けたプラットフォームの形成」ならびに「アクティブ・ラーニング拠点の構築」を掲げ、意欲的に取り組んだ結果、それぞれ注目すべき成果を挙げている。またこれらの取り組みを推進するためにグローバル戦略推進センターを設置し、教学マネジメントの強化に努めるなど、組織運営において着実な改善がみられる。さらに財務運営においても自己収入の拡大を図るなど、意欲的な取り組みが注目される。

今後も「ギャップイヤー・プログラム」の導入、「グローバルコース・主専攻プログラム」の実施をすでに決定するなど、「グローバル時代の地域マネジメント拠点としての社会的役割を果たし、北海道経済の発展に寄与するグローバル人材を育成する」という今期基本目標の実現が期待される。